あいち産業科学技術総合センターニュース

No. 169 （平成28年4月20日発行）

2016 4月号

（編集・発行）
あいち産業科学技術総合センター
〒470-0356
豊田市八草町秋合 1267-1
電話：0561-76-8302　FAX：0561-76-8304
URL：http://www.aichi-inst.jp/
E-mail：acist@pref.aichi.lg.jp

☆今月の内容

●ごあいさつ
●特集
あいち産業科学技術総合センター　平成 28 年度事業計画
・運営方針／事業計画（ものづくりイノベーション創出、中小企業・小規模事業者の企業力強化）
●トピックス＆お知らせ

ご あ い さ つ

新年度を迎え、ご挨拶申し上げます。

アベノミクスが始まり 3 年が経過し、景気は回復基調を保っていましたが、昨年末から始まった円高・株安や海外経済の減速など不安材料を抱え、我が国の経済は万全とはいえません。

ものづくり県である本県にあっては、新商品、新技術の開発やイノベーションを進めるとともに、新市場の創造に取り組むことにより、産業の活性化を進めていく必要があります。

こうした中、当センターは、産業界の活動を技術面からご支援申し上げ、本県製造業の新たな展開に貢献してまいる所存です。私共の使命は、本県産業振興のための「モノづくりイノベーション推進」と「モノづくり企業に対する技術課題解決策の提供」でございます。「知の拠点あいち」に位置する本部において、高度な計測分析機能の提供や産学行政連携の共同研究のサポートを実施し、モノづくりイノベーション推進に取組んでいるところでございますが、今年度は、シンクロトロン光活用推進室を新設し、シンクロトロン光計測を活用した最先端のモノづくり研究開発の普及促進を図ります。

平成 23 年度から 5 年計画で実施した「重点研究プロジェクトⅠ期」は、多くの研究成果を残し本年 3 月で終了しました。このプロジェクトで生まれた様々な成果の技術移転や普及等を図るため、本部と産業技術センター、食品工業技術センターに「成果活用プラザ」を設置し、成果の拡大、発展に貢献してまいります。さらに、今年度から新たに始まる「重点研究プロジェクトⅡ期」では、研究成果の県内産業への普及を推進するため、センター職員がすべての研究プロジェクトに参加し研究者との強い信頼関係を築いてまいります。

モノづくり企業に対する技術課題解決策の提供は、技術センターが中心となり進めており、昨年度は、技術相談を約 2 万 4 千件、依頼試験を約 15 万件、研究を 66 件実施しました。本年度は一層の充実を図り、使命を果たしてまいりたいと考えております。また、最先端の計測・加工技術についての技術研修を実施し、次世代モノづくり技術に対応するための人材育成を進めてまいります。

技術支援の充実を図るために機器整備は欠かせません。昨年度は、航空機部品等の試験としてニーズの高い減圧恒温恒湿槽（地域オープンイノベーション促進事業）の新設や、利用度の高い電磁環境試験設備（JKA 機械等設備拡充補助事業）の更新等を行いました。

これらの取組を効率的・効果的に進めるために、今年 3 月に「あいち産業科学技術総合センターアクションプラン」を策定し内部目標を明確にしましたので、今年度から精力的に取組んでまいります。

職員一同、精一杯努力し、皆様方とともに歩んでまいりたいと存じますので、これまでにも増して、ご指導、ご支援をお願い申し上げます。

平成 28 年 4 月

あいち産業科学技術総合センター
所　長　　山　本　昌　治

愛知県